



# 海の便り



素晴らしいスタート 優勝艇のべべさん

## 会報目次

- |          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| CHAPTER1 | MCC 4月ポイントレース優勝記 (べべ)           |
| CHAPTER2 | J S A F 三河湾周遊レース参戦記 (ダンシングビーンズ) |
| CHAPTER3 | 五ヶ所湾合同レース(ホーネット)                |
| CHAPTER4 | 五ヶ所湾合同レース後のクルージング(ホーネット中村)      |
| CHAPTER5 | 海上安全講習会の開催 (海陽ハーバー)             |

## 行事予定

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 5月18日 | MCC 春のチャンピオンシップ(三河湾合同レース) |
| 5月18日 | スモールクルーザーレース              |
| 5月25日 | 第22回エリカカップヨットレース JSAF OP  |
| 6月15日 | MCC カップレース(早朝)            |
| 6月15日 | 伊勢湾合同レース JASF OP          |

## MCC 4月ポイントレース結果

2008/4/13

名称	第1戦	MCCのみの修正順位表 第1戦					
コース	トライアングル						
距離	1 マイル	スタート時刻	10:30:00				
風速	5m以下						
着順	着順船名	TSF	TMF (A)	到着時刻	所要時間 (B)	修正時間 (A*B)	修正順位
1	ホーネット	605	0.992	10:59:35	1775	1760	2
2	オデッセイ	650	0.923	11:02:02	1922	1774	3
3	ルートリス	645	0.930	11:02:53	1973	1835	4
4	ベベ	700	0.857	11:03:49	2029	1739	1
5	ガメラ 3	665	0.902	11:11:14	2474	2232	5

名称	第2戦	MCCのみの修正順位表 第2戦							
コース	ソーセージ								
距離	5	マイル	スタート時刻	12:10:00					
風速	5m以下								
着順	着順船名	TSF	TMF (A)	到着時刻	所要時間 (B)	修正時間 (A*B)	修正順位	総合順位	得点
1	ホーネット	605	0.992	13:16:13	3973	3940	1	1	20.25
2	オデッセイ	650	0.923	13:24:42	4482	4137	3	3	18
3	ルートリス	645	0.930	13:24:52	4492	4179	4	4	17
4	ベベ	700	0.857	13:28:45	4725	4050	2	1	20.25
5	ガメラ 3	665	0.902	13:40:43	5443	4911	5	5	16

## 4月ポイントレース優勝記 (ラグーナ合同)

ベベ

夢のような昨年の成績はまるで、ロウソクの最後のアガキがごとく燃え尽き桜散り春うらの今年 最初のポイントレースを静かに穏やかに楽しむとラグーナと合同レースという形で迎えました。

(うらなみ)の島田、(メリーサン)の田中という陸ではパツとしないが海では頼りになる二人の助っ人をむかえ総勢 8人という大所帯でレース海面に向かいました。

第一レース 微風のなか大型艇に囲まれながらもまずまずのスタート。苦手の微風ではあるが、やけに船のすべりがいい。今回 最大の勝因でもあることが前日に行われた。RCレーティング所得の計測の為 船の中の全荷物をおろし、レース当日はライフジャケットとビールしか載っていない、船が軽い、プレーニングボードが見たことも無いほど浮いている。タック角度もいい、、トライアングルの第一レース、風のふれもうまくつかみ、コースどりも結果オーライ、mccで一位とのことでした。

第二レースは5レグのソーセイジコース。風もあがり10ノット強、フレッシュの風がほしくなるべく上からのスタートを意識しすぎて1分間ルールにかかってしまったらしい。ところがこのスタートがゼネリコ。コミッティーの安藤氏がパーティのときベベは運がいい、運がいいと念仏のように訴えていた。そんなこととは露知らず、再スタートはドンピシャ、あとは天気はいいし、罵声もなくミスもなくフィニッシュ。

総合の結果ホーネットとの同率一位、、ホーネット完全優勝、オデッセイ、ルートルスとの二位争いが? とクルーみんな思っていたのでビックリ。

パーティでは みなさんは人の話など聞かずにもくもくとバーベキューをつつき、我がテーブルだけは普段食べない肉をかきこみ焼酎はがぶのみ、でかい声でいつまでも宴会状態、こんな一年のスタートでいいのかな? いつかバチがあたるのでは、、

とにかく運のいい一日でした。



ベベ



ホーネット



## ‘08年 JSAF三河湾周遊レース参戦記

思いのほか順調で予定より早く着いたKYCで慎重に舳れを取ってホツとしていると（過去2回ここでオンザサンドというより石の交じった泥にキールを取られて立ち往生した事があり、今も愛艇のキール下にはこの時の生々しい擦り傷がある）MCCから参加するもう一杯のホーネットも間もなく到着した。私を見つけた会長は「会報の記事が少ないからJSAFのレース記を書け！」とのお達し、甘んじてこれを受ける事になってしまいました。と言う事で五ヶ所湾レース前に受けた依頼でしたが、レースを終わって惜敗を悔いながらDBの今年初レースだった「三河湾周遊レース」を振り返ろうと思います。

例年、このレースは主催クラブが富貴クラブなので、前日は富貴のゲストコースに停泊させてもらう。今夜はヘルシーに鳥の水炊き！持参した卓上コンロに大きな鍋をかけて皆で囲んだ。宴は盛り上がり、やがて睡魔が襲ってくると一人、また一人と寝床へ消えて、寝袋を忘れたO君の「寒いよぉ～」とささやく声が記憶の彼方へ薄れて行きました。ここは本当に静かだ・・・ムニャムニャ～

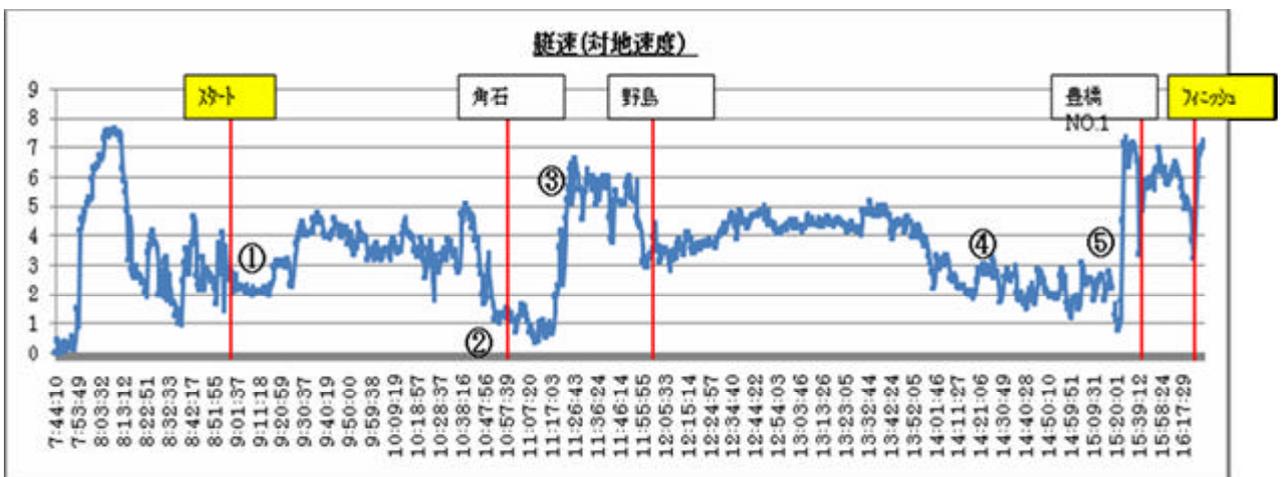
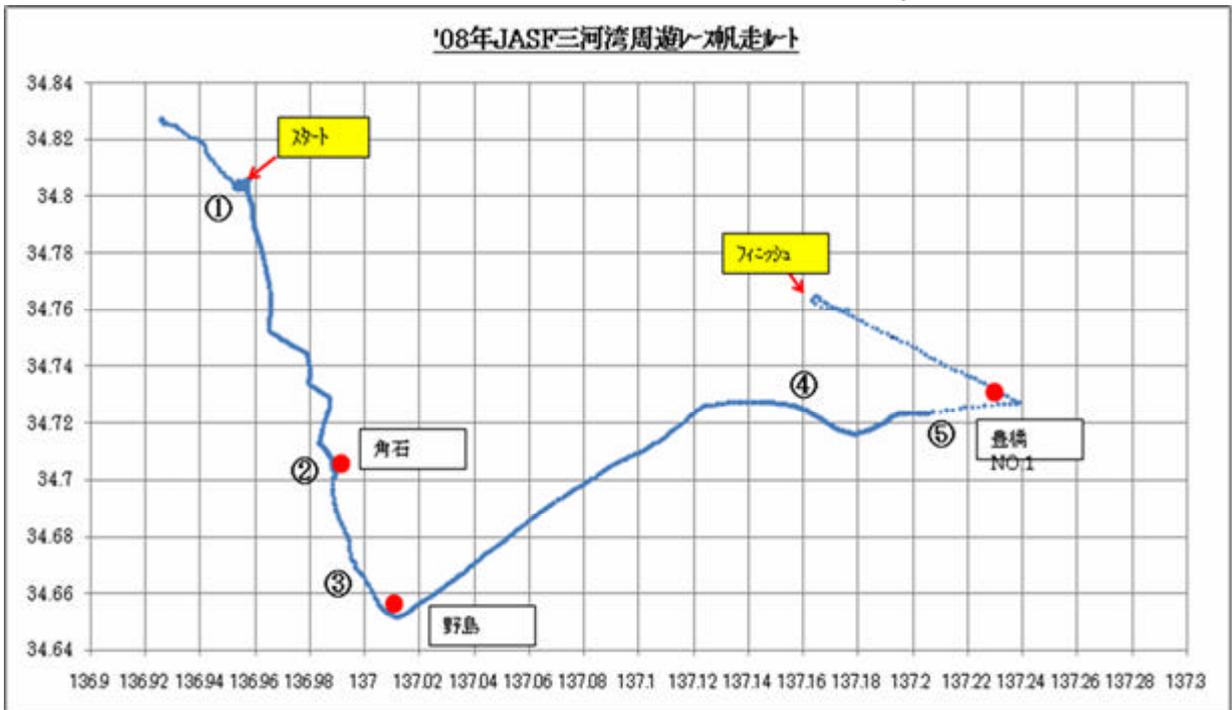
夜が明けると陸上組がやって来た。スタート海面へ出掛けるが防波堤を越えても風は弱い。ヘッドセールを迷うが徐々にライトを使う事にした。スタートは本部艇寄りのスタート。ほぼジャストのスタートになってスターボードで走り出す。弱い風を拾いながらじっと走らせていると大型艇と互角の走りになっている。「ライトにして正解だった！」もっとも、このレースの最大艇であるベンガルだけはずっと先へ走って行ってしまったのは書くまでも無い。僚艇、ホーネットは岸側（河和の方）へ延ばしている様だった。素晴らしい（自分で言うのもなんだが・・・）走りで、角石まではトップ集団に居た。しかし、角石まで来ると風が一段と落ちて、進行方向さえ定まらなくなってしまった。圧巻は衣浦港へ入る本船までが行く手を阻んで、あわや角石に激突か？とも思えるほど端っこへ追いやられて、ただただ風を待つ時間が焦りを募らせレースの行方を判らなくしてしまった。そうするうちに師崎側に浮いてる大型艇に風が入りだして、あっという間に離れて行ってしまった。我々にも風が入ると、何とか遅れを取り戻そうと必死に追いかける。松島は例によってショートカットが出来た。野島を回航するとスピンランになって三度、風が落ちて苦しく長いレグが始まった。それでもなんとか4ノットをキープしていた風も豊橋No1が近くなるにつれて、どんどん落ちて行き、艇速は2ノットを割り込むまでになった。前方に先行艇数艇が漂っているのが見える。頭にタイムリミットの時刻がよぎる様になると、「遂にこれまでか？」とついつい弱気になる。すると、後から来て半島側を進んでいた艇に風が入りだした。我々は豊橋No1を意識して、出来るだけ落として進んできたが、航跡は沖側を来た事になっていた。確かに渥美半島に沿って海が濃くなって来た。「あの風が来る！」そう思っているが、恐ろしく長い時間待たされている様に思え、満を持してその風を掴むと

一気にフィニッシュへ駆け込む事が出来た。「間一髪」そんな感じのレース展開でした。最後、フィニッシュ手前のスピンランでフローレスとミート。フローレスがスタボーだったので、直前でジャイブを余儀無くされてしまいました。ところが、これが大失敗！スピンがフォアステーに絡みつき……。でも「そんなのかんげえねえ！」とばかりに強引にそのままゴール！写真を撮られたらめっちゃかっこ悪いところでした。

今回はクルーの持参したハンディーGPSのデータから航跡と艇速をグラフにしてみましたので参考にしてください。

以上

By M.A DB



## 五箇所湾合同レース

5月2日 AM2時、北よりの微風の中、23艇が五箇所湾に向けてスピンを揚げてスタートした。MCCからはDANCING BEANSとHORNETが参加。メンバーは中村、高橋、十八日、石原、多田、都築、二村、正木の8名。今回は、同型艇のYING CHANとNARUMIが参加、両艇とも強敵だが、これに負けられないようにしたいところ。

HORNETは、知多半島よりのコースをまずまずの走りでトップ集団を走る。なお、大型艇のベンガルは当然ながら先行し見えなくなるが、レーティングの違いもあり、放っておくよりどうしようもない。

角石西を通過する手前では反対タック艇の先をかわせ、ここからはトップに立つことができた（「BENGALを除けば」で以下同じ）。後続はGUST、PARAPHRENIANで、その後、追いつかれ、追いつき、引き離ししながら、麦崎沖の定置網をうまくかわし（外側を通過）、布施田水道へはトップで入る。ここまでトップをキープするのは、なかなかできないことなので、「よしよし」という気持ちと、風が弱いめどうなるのか、という不安も入り混じっていた。

予想通り風が落ちる中、御座沖ではPARAPHRENIANに追いつかれ少し先行され、後からは宿敵YING CHANや、KAITOがひたひたと差を詰めてくる。さらにその後ろからはスピンを上げた艇団が近づいてくるようだ。

五箇所湾を前に、南よりの風が入り、GUST、PARAPHRENIAN、HORNET、YING CHAN、KAITOがフィニッシュラインを目指す、PARAPHRENIANとKAITOにはスピードで負けられないのに、あるうことか、同型艇YING CHANには目の前で風下から抜き去られてしまった。

フィニッシュはBENGAL、GUST、YING CHANに続き4位（12時3分）、続々と後続艇が入ってきた。途中までの快走気分はどこへやら、最後にやられた悔しさから、少し重い雰囲気となってしまった。

修正結果は2時間半も前にフィニッシュしたBENGALが1位、2位YING CHAN、3位HORNETで、なんとか3位に食い込めたのは救いだった。

反省するとすれば、最後にスピードに乗れなくて抜かれたこと。ちょっとしたステアリングや、セールトリムでしかないはずだが・・・それが肝心なときにできなかった。

途中までは快走、終盤、風が落ちて後続艇に有利な風が吹く展開は、4月の三河湾周遊レース（衣浦 野島 豊橋 幡豆）でも同じ。豊橋をBENGALの次に回航、「今日うまい酒が飲めそうだな」なんて言っていたら、後続艇に有利な風となって、着順5位、修正3位となってしまった。（優勝はDANCING BEANS）

優勝できないのは、決して油断したり、力を抜いてしまったり、ということばかりではなく、風という自然を相手にする難しさもある。勝負は下駄を履くまでわからない、ということで次にまた頑張るしかない。

VOC 志摩ヨットハーバーは新緑が美しく、レースで疲れた体に、5月初めの陽射しと、まさに海の味がする大振りの牡蠣とビールがしみわたってきて、抜かれた悔しさを癒してくれるようで気持ちがよかった。

ホーネット 正木 宏

写真はレース後のアフターパーティー、バーベキューで盛り上がりました。



## 五ヶ所湾レース後のクルージング

ホーネット中村

ホーネットはレース後、4,5,6日、五ヶ所湾から南下、クルージングを楽しんできました。4日、昼頃、紀伊長島に寄港、食材を仕入れ刺身などで昼食、その後さらに南下し16時には九鬼へ

九鬼では懇意にさせていただき方々に世話になり楽しく過ごせました。

5日、4時起床、定置網の漁師体験をさせていただく。

漁師体験の後には獲物を少し分けていただき豪華な朝食、特別にイセエビの差し入れもいただき大感激！！

天気は下り坂なれど9時出港、小雨の煙る中を冲出し、神の島沖を通過し大王波切漁港へ朝いただいた小鰯をから揚げ、鯛刺し、イカ刺し等で豪華な夕食

夕方から強風、一晩中吹いたが、6日朝には上天気、風も収まってきた

天気予報では午前中は強い風が残るものの午後には風は落ちる予報、8時出港

予報どおり伊良湖水道に掛かる頃から風が落ち、渥美火力からは追風、暖くなり

14時過ぎ楽しいクルージングを終えました。

定置網漁の体験



市場で選別作業体験



頂いた大きなイセエビ



豪華な朝食



# 海上安全講習会開催のお知らせ

2008.5.1

平成20年度「蒲郡地区」海上安全講習会を下記のとおり開催しますので、この機会にぜひ受講して頂けますようご案内申し上げます。

## 記

- 1：開催日時 平成20年5月31日(土) 13:00～15:00
- 2：場 所 海陽ヨットハーバー会議室  
蒲郡市海陽町1-7 (TEL0533-59-8851)
- 3：講習内容 (1) 小型船の安全運航上の注意事項について  
講師：海上安全指導員  
(2) プレジャーボート等の海難事故防止について  
講師：蒲郡海上保安署 担当官  
(3) 気象・海象、風浪等の気象解説  
講師：気象解説家 島川甲子三氏  
(4) その他  
(社)中部小型船安全協会 事務局長  
(5) 質疑応答
- 4：受講資格 どなたでも可
- 5：受講料 無料
- 6：申込方法 電話またはEメールもしくは海陽ヨットハーバー受付窓口へ  
予約をして下さい。  
TEL0533-59-8851  
Eメールアドレス kaiyo@aichi-toshi.or.jp
- 7：定 員 先着40名
- 8：申込〆切 定員になり次第〆切ります。

主催 (社)中部小型船安全協会

(財)愛知県都市整備協会

後援 第四管区海上保安本部・蒲郡海上保安署

詳しくは、海陽ヨットハーバーへお問い合わせ下さい。